

霧笛 (1934)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 93分
初公開日 1934/05/10

【解説】

朝日新聞連載の大佛次郎による同名小説を、村田実が国広周禄とともに脚色し映画化。横浜を舞台に、白人男性と日本人男性との宿命を描く。現存している、数少ない村田実作品の一つ。1952年に谷口千吉監督がリメイク版を制作した。

明治時代の横浜。商人のクーパーは外人居留地で、愛人のお花と暮らしていた。白人以外を虫けらとしか思っていないクーパーに反感を覚え、彼の財布を奪ったスリの千代吉は、クーパーから奴隷のように扱われていた。しかしクーパーが仕事で家を空けている間に、千代吉はお花と愛し合うようになり…。

【クレジット】

監督 村田実
原作 大仏次郎
脚本 国広周禄
潤色 国広周禄
撮影 青嶋順一郎
出演 中野英治 千代吉
志賀暁子 クーパーの愛人お花
菅井一郎 クーパー
村田宏寿 豚常
小坂信夫 無頼漢代官坂の富
ジョウ・オハラ 下男
大泉浩二 船長
原謙介 コック
対島邦江 女将
並木錦子 洋妾
一條佳子 洋妾
唐松沢子 洋妾